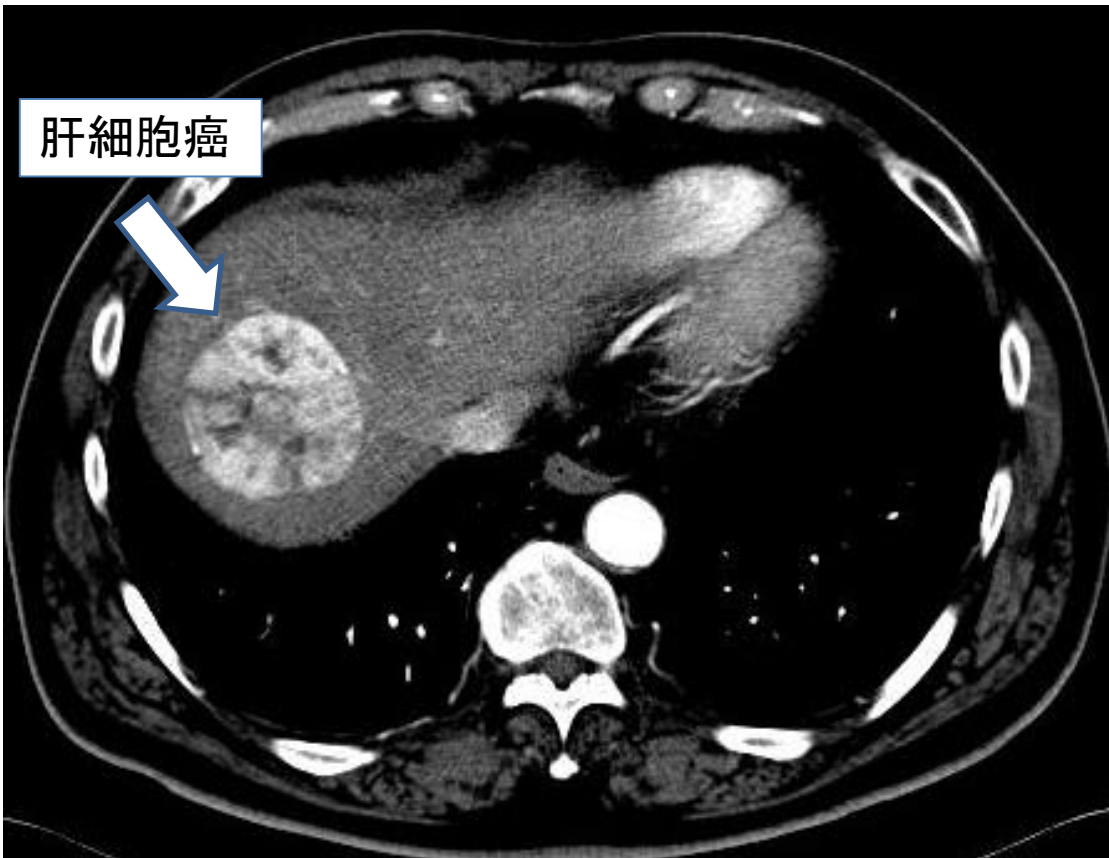


【肝細胞癌】

①肝臓の癌の多くが肝細胞癌で、他に肝内胆管癌，転移性肝癌などがあります。



画像検査は、腹部超音波検査、造影CT検査、造影MRI検査などを行います。
より詳細な評価が必要な場合は、腹部造影超音波検査も行っています。

CT

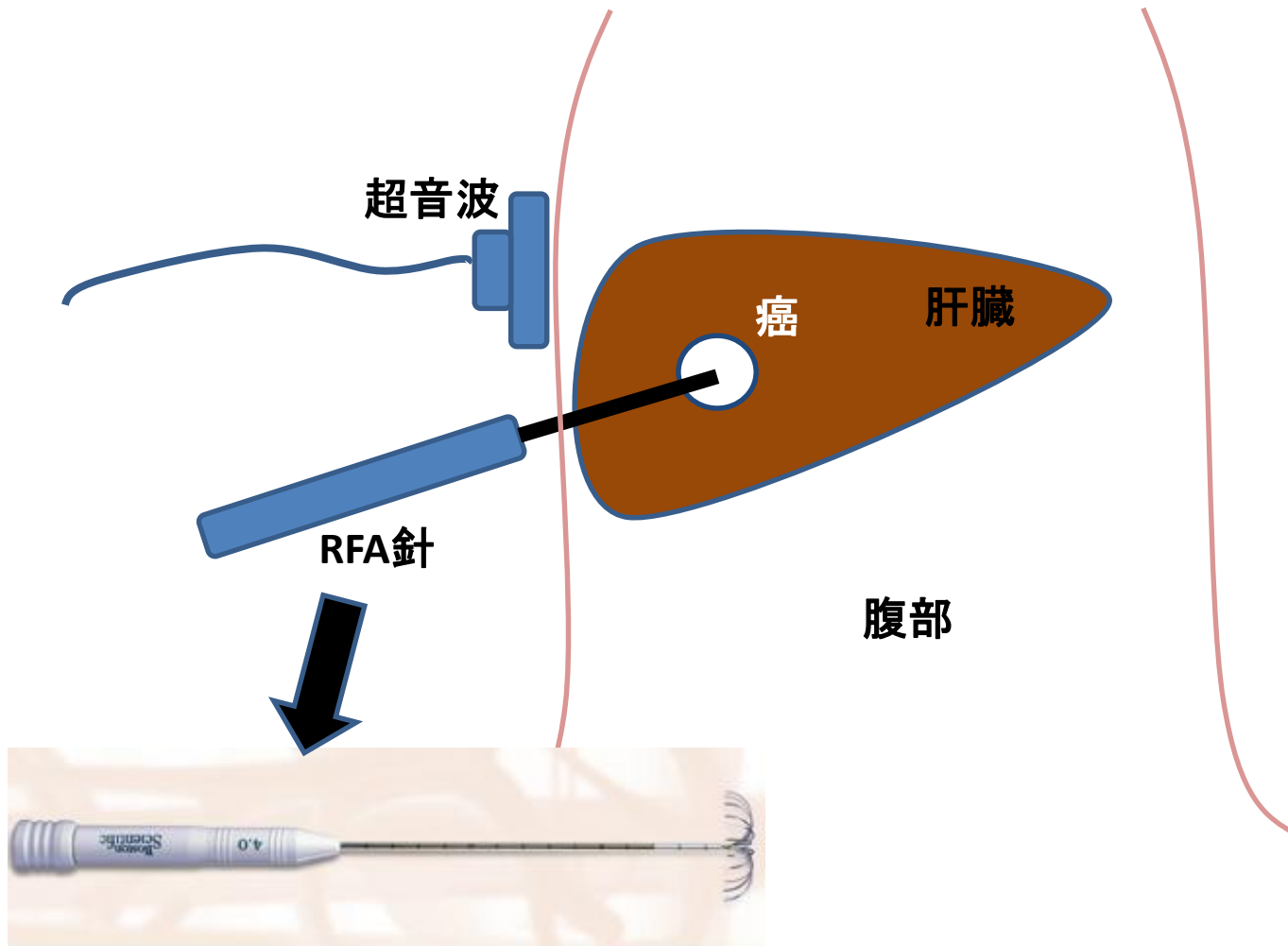


MRI

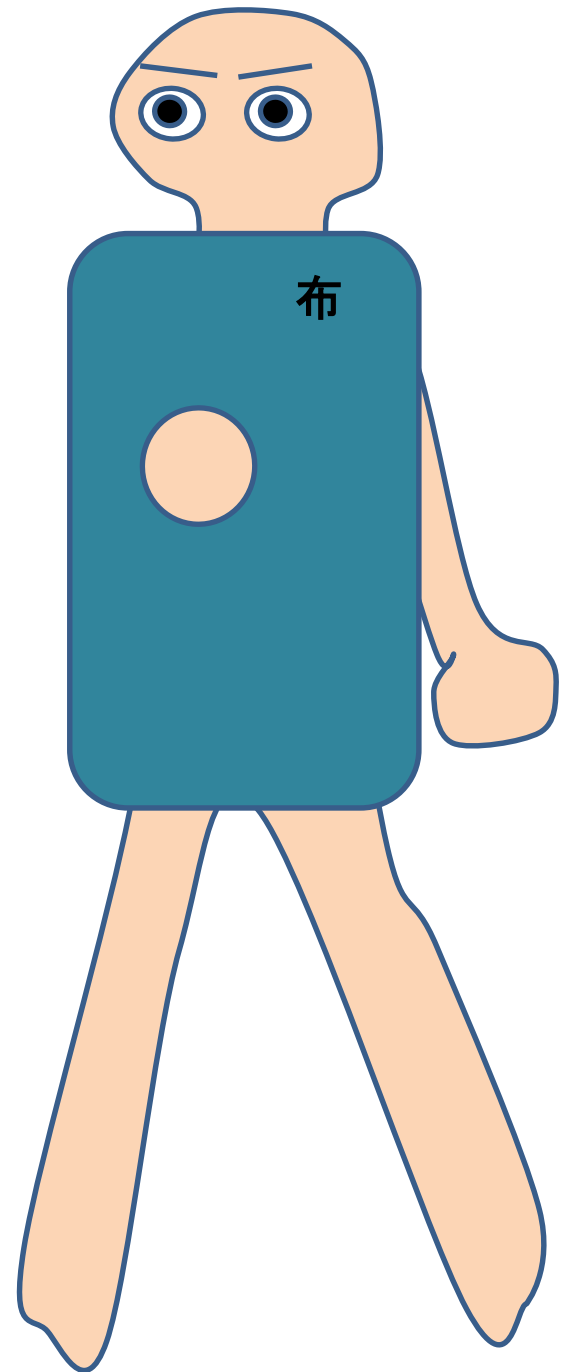


- 経皮的ラジオ波焼灼療法(radiofrequency ablation : RFA)

超音波で見ながら，皮膚から電極を病変部に挿入し，高周波による熱で癌を壊死させる治療法です。



①消毒をして布を広げます.



②まず、超音波をあてて、針を刺す位置を決めます。



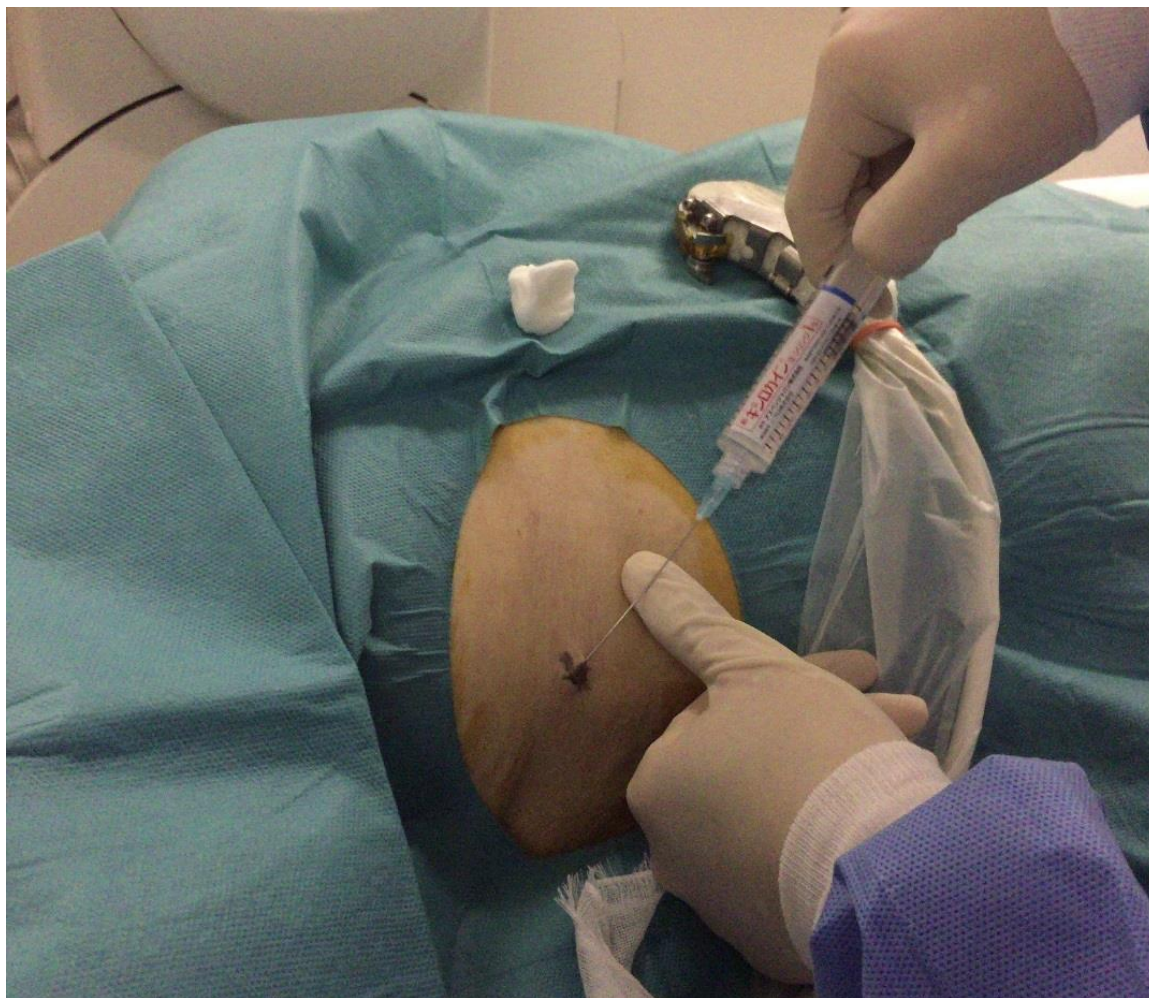
③機械をセッティングします。



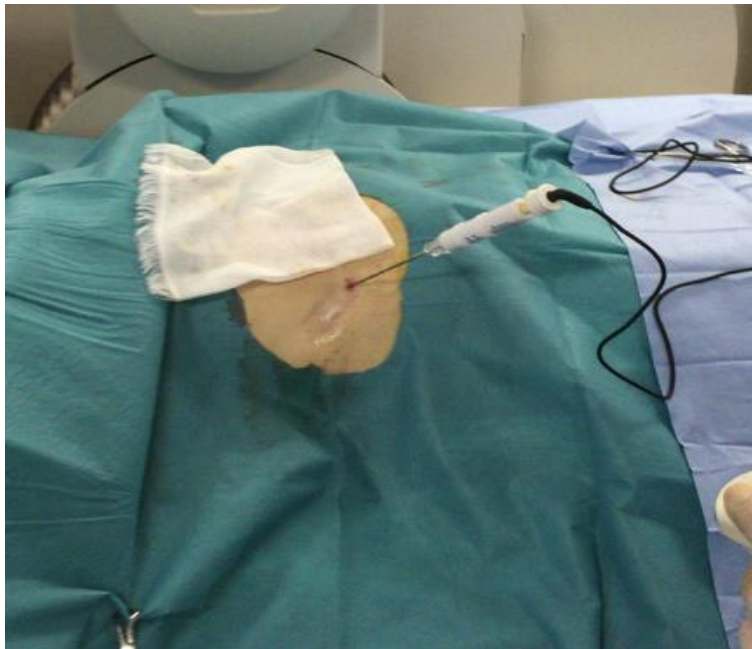
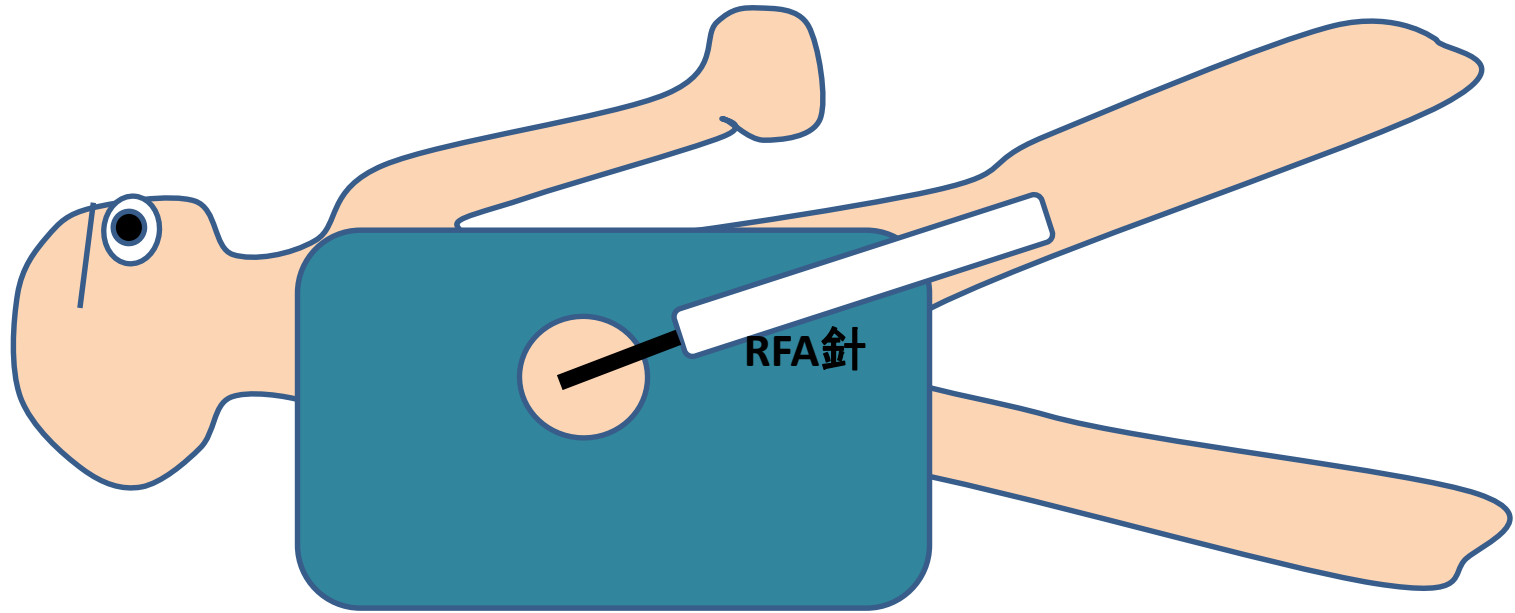
ジェネレーター

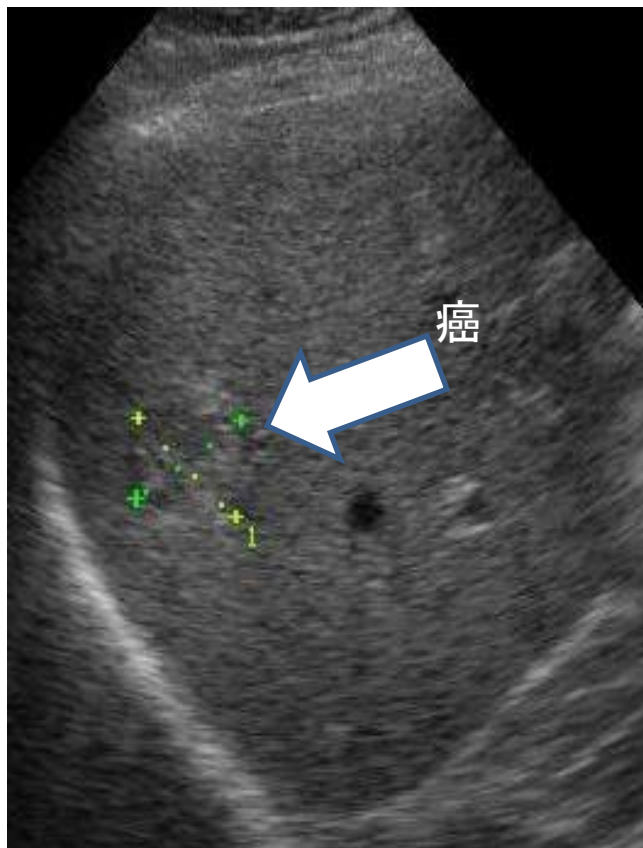


④局所麻酔をします。

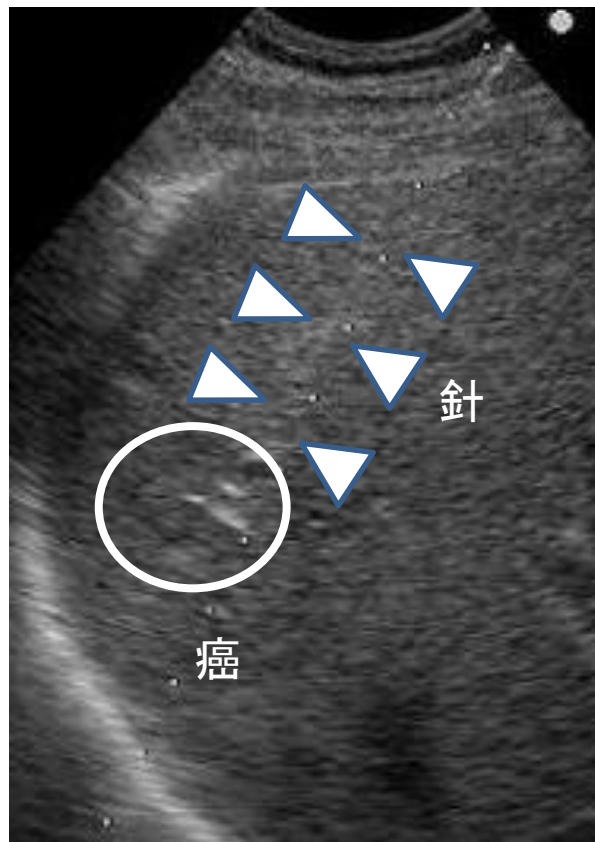


⑤超音波を見ながら針を刺します.





病変の確認



針の穿刺



焼灼

治療後にはCTやMRIを撮影します。

治療前

治療後



造影剤を注入することで
白い腫瘍としてうつります



周囲も含めて焼いたので
治療後には腫瘍が完全に消失しました。

肝動脈化学塞栓療法

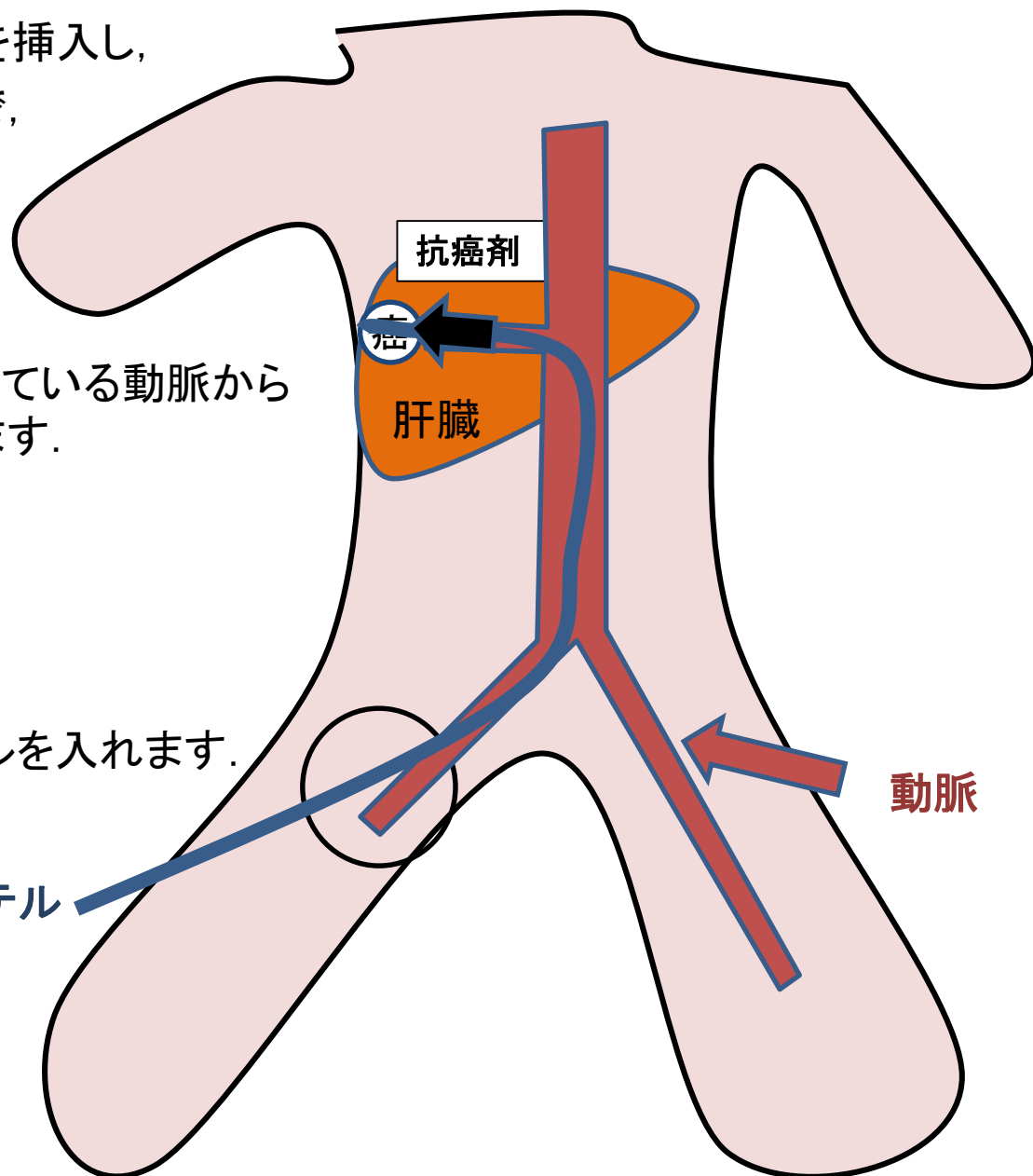
(transcatheter arterial chemoembolization : TACE)

癌に栄養を送る動脈にカテーテルを挿入し、
抗癌剤と塞栓物質を注入することで、
癌を壊死させる治療法です。

癌に栄養を送っている動脈から
抗癌剤を入れます。

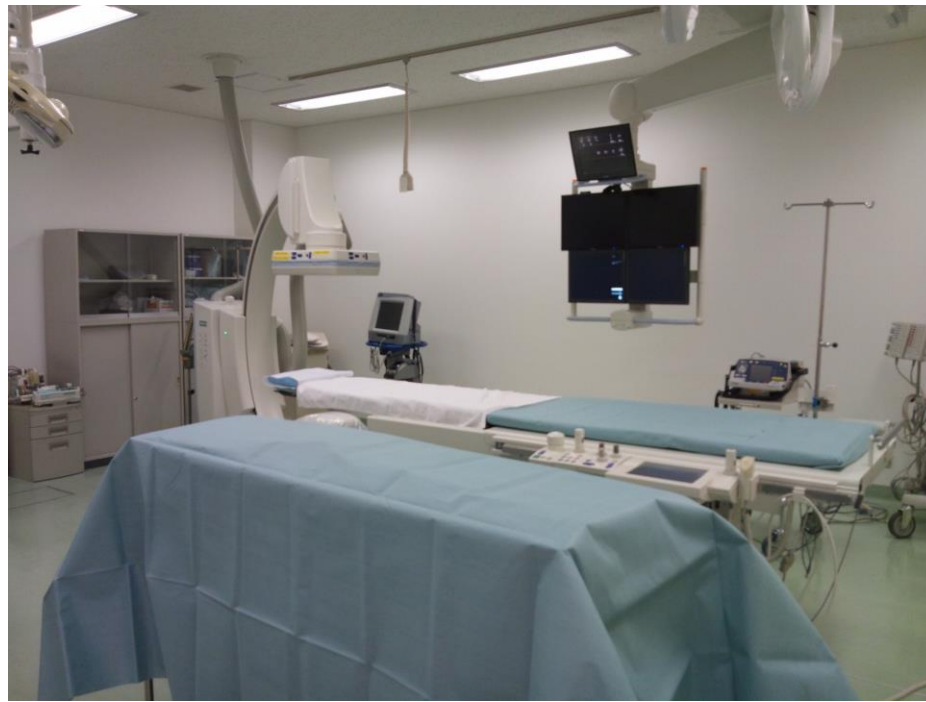
足の付け根からカテーテルを入れます。

カテーテル

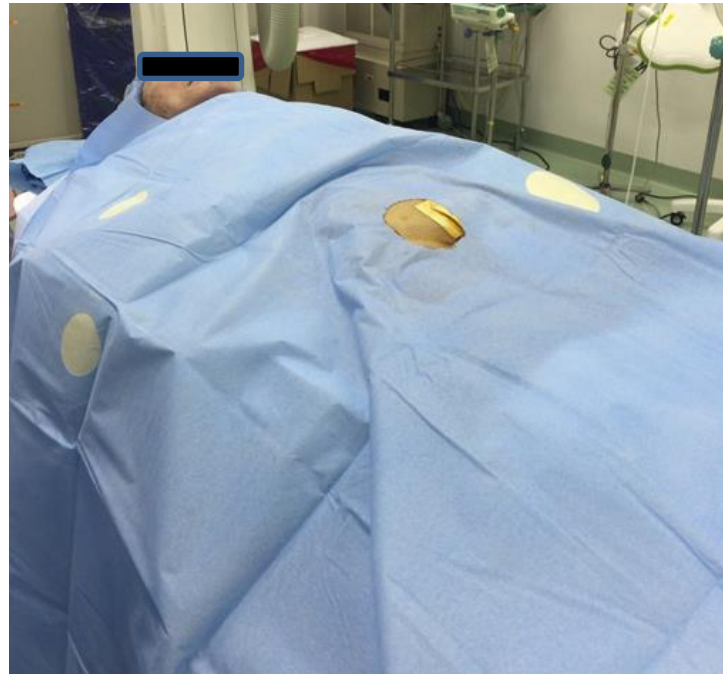


動脈

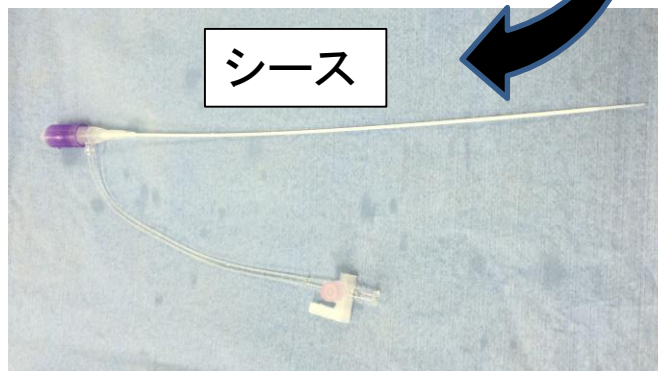
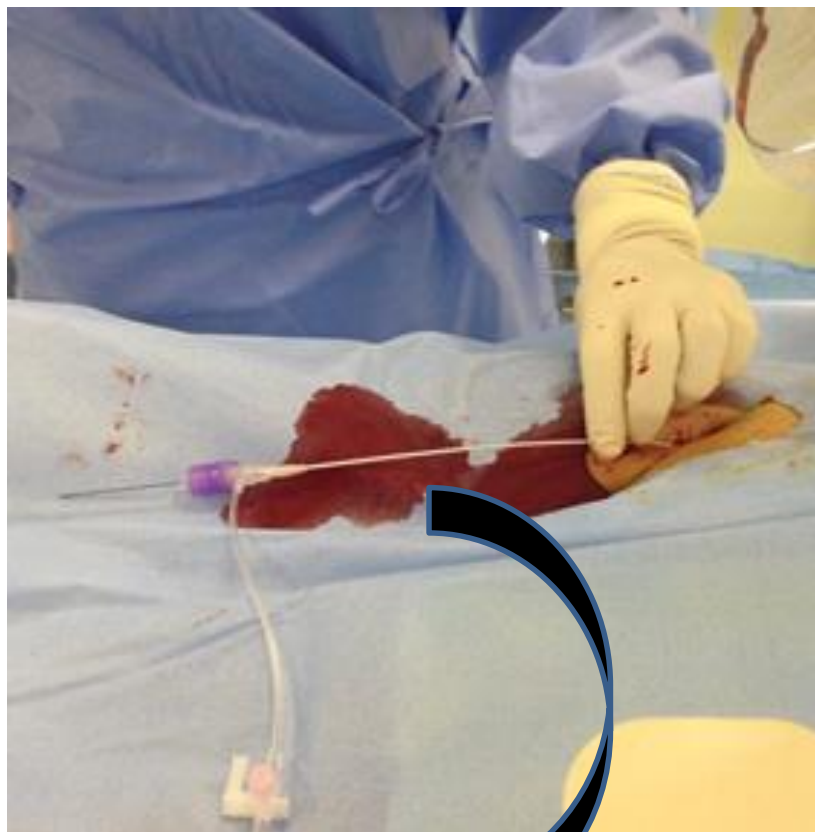
①血管造影室で行います。



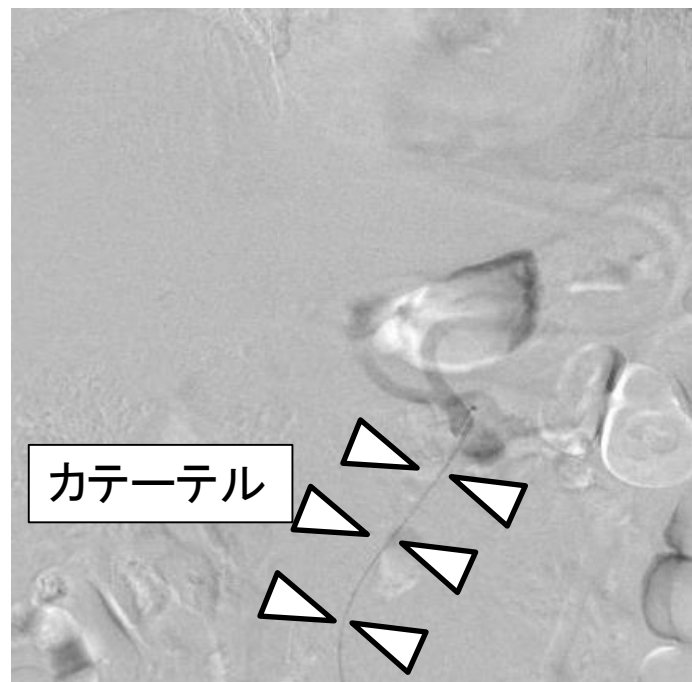
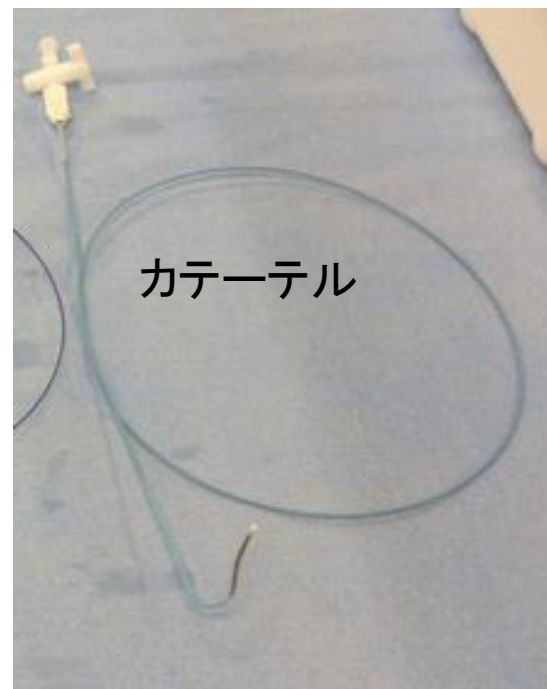
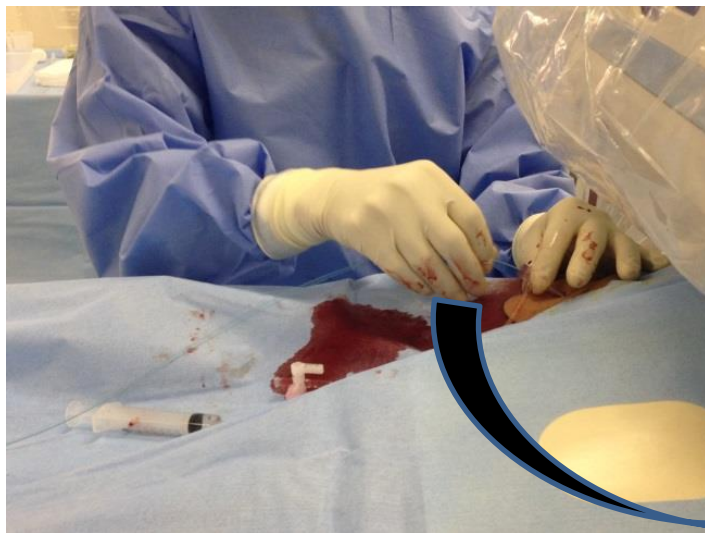
②足の付け根に消毒をして
布を広げます



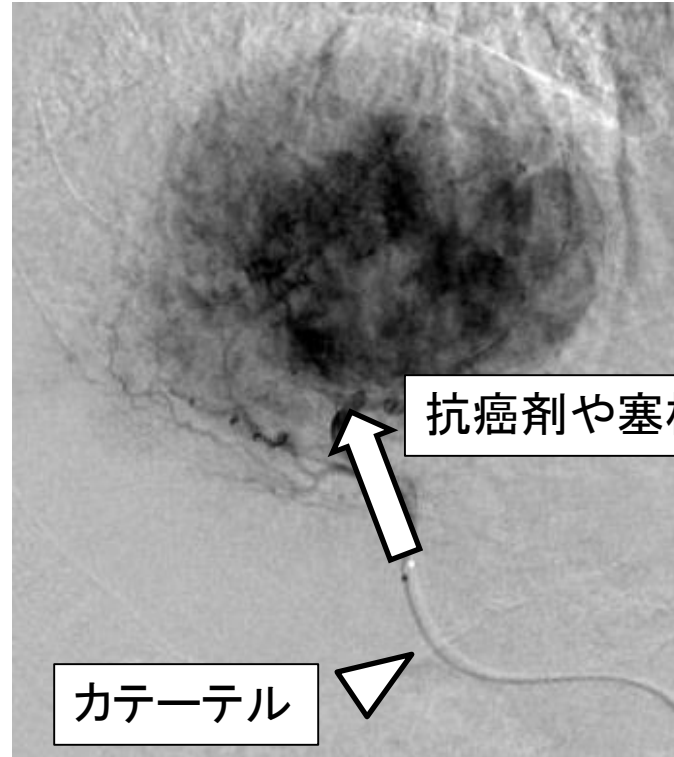
③局所麻酔をして、足の付け根から管(シースやカテーテル)が入ります



④動脈の中にカテーテルをいれます。
カテーテルから造影剤を流すことで、癌を探します

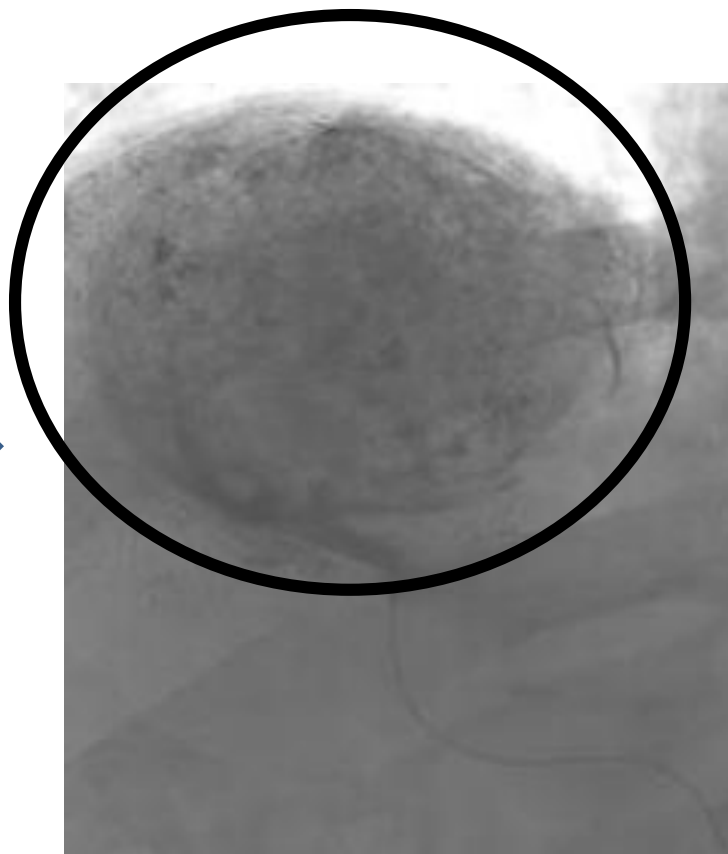
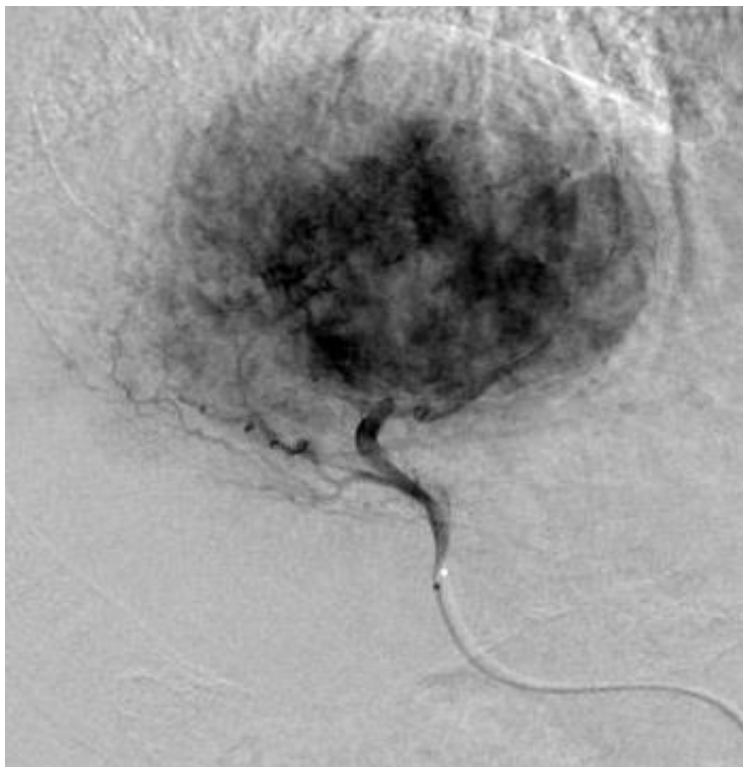


⑤癌に栄養をあたえる血管を見つけたら、さらに奥までカテーテルをすすめます。
抗癌剤と塞栓物質をいれます



抗癌剤

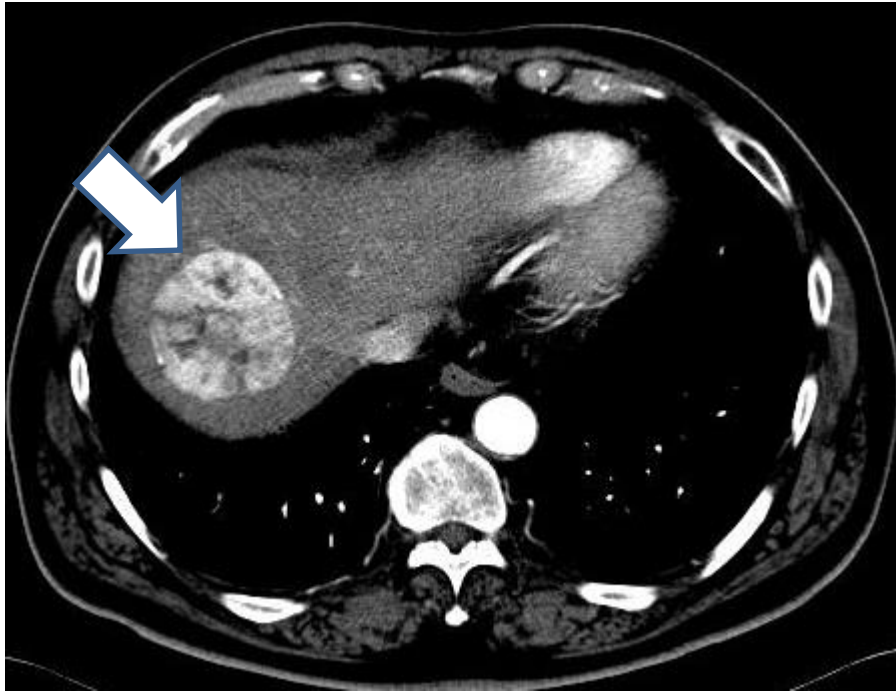




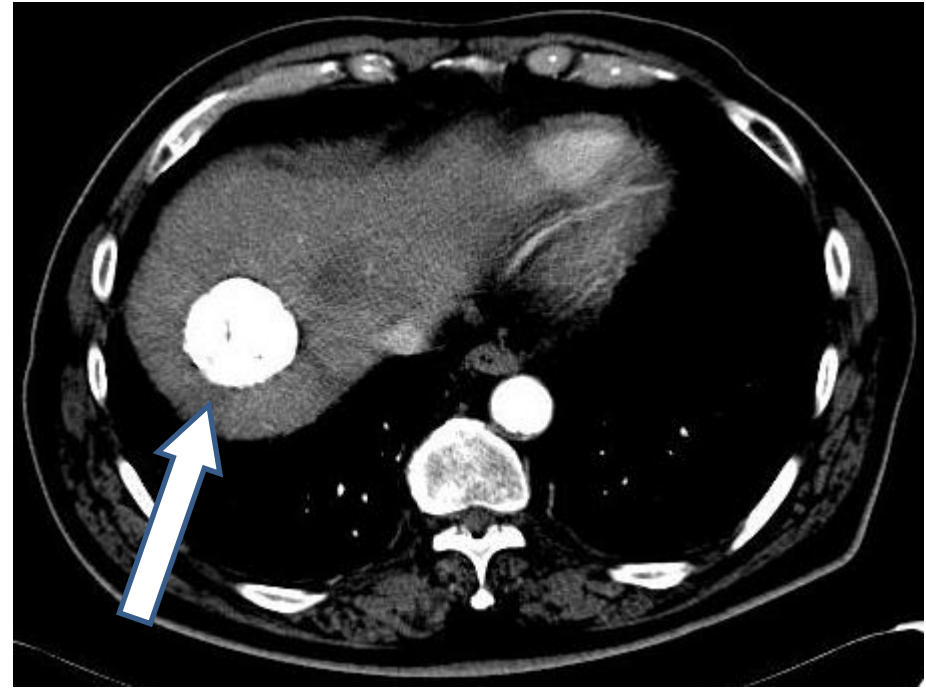
造影されたものがうつらなくなりましたので
治療を終了します

治療後にはCTやMRIを撮影します。

治療前



治療後2か月後



薬がしっかり入っています

• 肝動注化学療法

体内に埋め込んだカテーテルを用いて、繰り返し抗癌剤を注入する治療法です。カテーテルを埋め込むための処置が必要ですが、その後は病室で治療を行うことが可能です。

